



～あふれ出る湧き水と瑠璃色の水辺の町～

針江・霜降



はりっしも
Harisshimo vol.9 2019.3

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会

Message

針江・霜降地域は、国の「日本遺産」・「重要文化的景観」の選定を受けています。

●今回は、高島市重要文化的景観整備活用委員の追手門学院大学・南出眞助教授と、針江日吉神社の中村美重宮司（大國主神社宮司）に寄稿いただきました

「小ぢんまり感」に 居心地のよさを感じます

追手門学院大学国際教養学部 教授 南出 眞助

●プロフィール

兵庫県生まれ。専門は歴史地理学。京都大学助手佐賀大学助教授を経て現職。港町の空間構成に関心があり、日本・アジア・オーストラリア・ヨーロッパなどで、港湾都市の成立と発展過程について研究している。文化庁文化審議会「重要文化的景観」委員。高島市重要文化的景観整備活用委員会委員。



吹雪なう/1月26日 針江にて

■こんにちは、私は文化庁選定以後の「整備活用」委員なので、地元の方々には馴染みが薄いと思いますが、これからもよろしくお願ひします。

じつは昔から自転車が大好きで、中1のときには友達と琵琶湖を一周しました。奈良県から3泊4日の大旅行でした。湖周道路もなかった時代に、国道8号線を走るのは退屈でしたが、それに比べて161号線は、ずっと琵琶湖と一緒に感じがしました。湖西は山と湖が近く、その間に小ぢんまりとした生活空間があります。今でも夏のアマゴ釣りや冬のコハクチョウ観察など、京都府の自宅から年に何回も来ていますが、いつもこの「小ぢんまり感」に居心地のよさを感じます。これこそが湖西の良さだと思っています。

「ピワイチ」では、勝野一今津間は遠回りでも湖周道路を走る人が多いようです。彼らは「早く着く」ためではなく、「楽しむ」ために走っているのですから。私だって、汗をかきながら湖周道路を走っていて、「冷たい湧き水あります。ここから2km」などという標示を見かけたら、寄ってみたいかなと思います。「道草」は、クルマでは味わえないサイクリングの醍醐味です。

ただ、中にはマナーの悪い人もいます。本来歩くべき道をハイスピードですり抜けたりします。集落の中まで不心得者に荒らされるのは困りますが、せめて入口だけでも一目見て欲しいと思います。重要文化的景観は国民の財産です。むやみに観光化を図る必要はありませんが、その存在を知ってもらうのは大事なことです。



重要文化的景観整備活用委員会の針江視察



清冽な湧き水が生活を潤すカバタ



春、針江琵琶湖岸ノウルシ群生地

湧人小
きとさ
水自な
と然町
川をに
がつな
ぐ
がある



はりっしも探索

自然のめぐみ 針江・日吉神社 宮司 中村 美重

■何も仕掛けがないのに水が湧き出す。感心なし、これを当たり前のこと、不思議だ、恵みととるのか。これについて私達の祖先の弥生人に遡って考えてみましょう。この人達は8系統で日本列島に数千年前頃にたどり着きました。そのうちの華南以南より来た人々は稲作文化を持ち込みました。科学的知識を持ち合わせていませんが、長年の経験から穀物が稔のは水と太陽の光が必要である、土も大事だということ等も知るようになりました。つまり物知りが重用される、物知りイコール長老が敬われる文化の発生です。



●日吉神社 大晦日 針江大川にて大祓の儀式

紙の人形代(ひとかたしろ)に息を吹きかけ、また体の調子の悪いところを撫でて、穢れを遷した後に大川に流し、新しい年の無病息災を祈る。

日照りが続いても^{こんこん}渾々と噴き出す泉（ショウズ）の風景は、人智を超えた力の発生がキッとあるに違いない。実に不思議だ。この人智を超えた力こそ神だ、と考えました。その様に考えた人々の集まった所が現在の神社のこの地、そのものだったのです。ですから日吉神社の成立以前から崇める地として存在していました。恐らく水系から考えると霜降にもこのような場所があったのではないかと推測されます。なぜならば神社は何の縁も縁も無い所には存在しません。この地でなければならぬと祖先は考えていて、彼等なりの筋が通っているのです。やがて仏教と影響を及ぼしあいながら今の形になってきました。皆さんも、一度、原点まで遡ってみてはいかがですか。